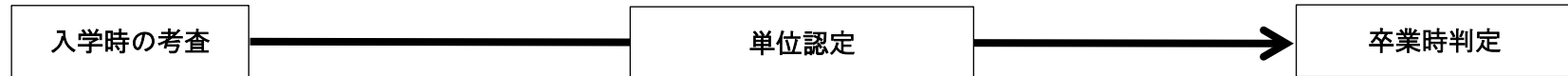


愛知学泉大学家政学部 3つのポリシー(アドミッション・カリキュラム・ディプロマ・ポリシー)に基づくアセスメント



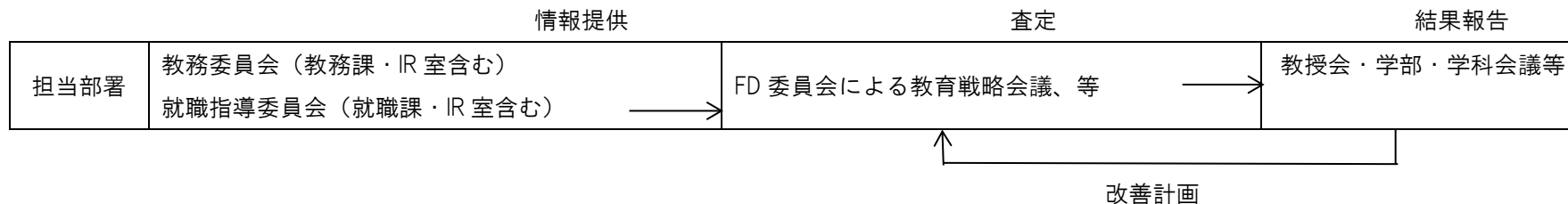
	アドミッション・ポリシーを満たす人材の評価判定	カリキュラム・ポリシーに則した学修が行われているかの評価判定	ディプロマ・ポリシーを満たす人材となったかの評価判定
機 関 レ ベル	<ul style="list-style-type: none"> ●各種入学試験 <ul style="list-style-type: none"> ○試験科目の選定 ●満足度調査 <ul style="list-style-type: none"> ○入学後アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ●在学生数 ●課外活動状況 ●満足度調査 <ul style="list-style-type: none"> ○各半期または各年度了時における学修活動の振り返り ●退学率・休学率 	<ul style="list-style-type: none"> ●「学びの泉」達成 <ul style="list-style-type: none"> ○学士力 ○学位授与数 <ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件 ・学修履歴（ポートフォリオ） ・社会人基礎力・pisa型学力 ○汎用力の達成 <ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神（四大精神）・社会人基礎力・pisa型学力 ・学生満足度（アンケート） ○就業力 <ul style="list-style-type: none"> ・就業に必須となる各種資格の有無 ・希望する職業への就業、進学等の成否 ・専門領域への就職率 ・学生満足度（アンケート） ・企業（雇用者）からの評価（アンケート）
教 育 課 程 レ ベル	<ul style="list-style-type: none"> ●入学形態と GPA 家政学に必要な知識・技能、社会人基礎力、思考・判断・表現力のルーブリック評価 <ul style="list-style-type: none"> ○専攻・学科のディプロマ・ポリシーの理解力 ○調査書等の記載内容 ○面接時の試問、小論文の論題、行動特性の試験 ●選抜試験問題 <ul style="list-style-type: none"> ○入学前の課題（合格者） ○国語・英語・生物・化学、数学等の試験問題 ○行動特性の試験問題 	<ul style="list-style-type: none"> ●履修系統図、履修モデル ●学修履歴（ポートフォリオ） ●GPA <ul style="list-style-type: none"> ○全・学年別成績分布状況 ○成績評価の平準化 ○修得単位数 ●外部テスト <ul style="list-style-type: none"> ○ジェネリックスキル調査（思考力・判断力・表現力、汎用力（社会人基礎力）） 	<ul style="list-style-type: none"> ●資格修得および合格率状況 <ul style="list-style-type: none"> ○管理栄養士国家試験合格率・合格者数 ○教員採用試験合格率・合格者数 ○公務員採用試験合格率・合格者数 ○他の資格試験合格率・合格者 ○資格取得率・取得者数
科 目 レ ベル	<ul style="list-style-type: none"> ●アセスメントテスト <ul style="list-style-type: none"> ○RST テスト・数値的理解または PROG テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ●成績評価（テスト・シラバス成績評価方法ルーブリック（明確化）） <ul style="list-style-type: none"> ○筆記試験、レポート、成果発表、学修行動 ○学外実習評価 ○科目別成績分布状況 ○授業評価アンケート 	

アセスメント・ポリシーに基づく各レベルでの査定とフィードバックの流れ

愛知学泉大学家政学部は、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの3つのポリシーに基づき、機関レベル（大学）、教育課程レベル（学部・学科）・科目レベル（授業・科目）の3段階で学修成果を査定する方法を定めています。

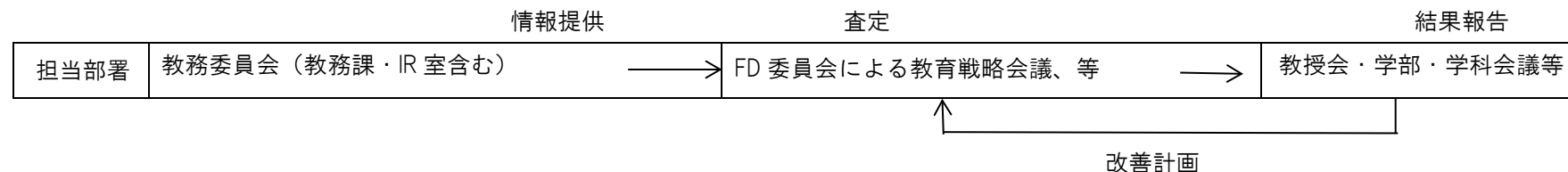
1. 機関レベル

学生の志望進路（就職率、資格・免許を生かした専門領域へ就業率および進学率、等）から学修成果の達成状況を査定します。



2. 教育課程レベル

家政学部家政学科の所定の教育課程における資格・免許の取得状況・卒業要件達成状況（単位取得状況・GPA）から教育課程全体を通して学修成果の達成状況を査定します。また各年次の単位修得率・成績分布の状況から、学士力における汎用的技能と態度・志向性について、1年次における基礎、2年次における活用と実行、3年次における応用と定着、そして4年次での専門知識と技能、四大精神、社会人基礎力、pisa型学力の統合的学修の獲得状況を学修成果として査定します。



3. 科目レベル

シラバスで提示された授業等科目の学修目標に対する達成度の評価、及び学生アンケート等から、科目ごとの学修成果の達成状況を査定します。

